

ちさとの風

千里山まちづくりニュース No.30

SENRIYAMA
千里山まちづくり協議会

心ふれあうまち、安全で住み良いまち、美しく楽しいまち、千里山をめざして

2018. 4. 30 【春号】

1 都市計画道路「千里山佐井寺線」の開通と駅西道路整備

「千里山佐井寺線」の竣工式が3月15日に開催されました

2005年7月に始まった千里山周辺まちづくりで残っていた千里山佐井寺線「松が丘工区」約405mが完成。後藤市長、吹田市土木部など関係者、市会議員、地元自治会関係者、阪急バス関係者が参加して、松が丘工区の間中点（工区の最高地点）を会場に竣工式が行われました。

式典では「松が丘工区」の事業概要の報告、地元の協力に対する謝辞と共に市に担当者を紹介すると共に、事業推進に当たっての具体的問題点への職員の苦労を労いました。

「テープカット」の後、道路周辺の変化を確認し合いながら駅前広場まで歩き、そこで阪急バスの路線バス運行計画を聞き閉会しました。

尚、市・土木部地域整備推進室のホームページによると、現在残っている電柱4本を撤去し、電線も埋設し景観・防災面の向上を図ることになっています。

(H31、12完了予定) 吹田市HPに松が丘工区の写真を掲載しています。



テープカット



ちさと図書館前



佐井寺方面を望む



駅西道路の整備

阪急バス時刻表

松が丘工区事業概要

延長 405m 幅員 12m
事業期間：H22.6.7~H30.3.31
総事業費：約22億8千万円

【特徴】

- ① 環境およびバリアフリーに配慮した舗装
- ② 無電柱化を目的とした電線
- 共同溝整備を生かす。
- ③ 道路整備によるバス路線の新規導入



	阪急千里山発		JR吹田北口発	
	平日	土休日	平日	土休日
6			39	
7	5	53	30	
8	57		26	
9	57	57	23	23
10	57	57	23	23
11	57	57	23	23
12	57	57	23	23
13	57	57	23	23
14	57	57	23	23
15	57	57	23	23
16	57	57	28	23
17	45		20	
18	33		9	57
19	23		44	
20	11		33	
21	0			

2 まちづくり協議会のイベントや研修会にあなたも参加しませんか？

千里山で暮らす・遊ぶ・知るをテーマに、街づくりの提案やイベント・研修の企画などを行います！

■ 関電不動産マンション開発計画を巡って

千里山団地後工区のF・E2街区に建設が予定されている関電不動産開発による計4棟、460戸以上のマンション開発計画は、周辺住環境や緑地保全の後退低下につながるのと近隣住民の不安や懸念に対し、開発事業者としての責任や理念に基づく解決方向も示されず、市開発担当部局も近隣住民に寄り添った行政指導も不十分なまま、連休明けの5月中にも開発許可が出されようとしています。こうした人口増をもたらす開発誘導施策が、今後の千里山の将来のまちづくりや後世に汚点を残すことにならないか、大変気がかりです。

昨年10月31日付「ちさとの風No29」でも報告しましたが、大規模構想開発届出制に基づく昨年6、7月の住民説明会について事業主側が8月8日に提出した報告書をめぐって、住民側の意見書や再意見書で約260通を超える反対意見が出されました。これに対し事業主側からの見解書や再見解書では、周辺建物より突出した高度について景観上や日照上の疑問や不安に何ら応えず法律の範囲内で合法的だとし、先工区前の緑地面積と人口から比較しても同じ千里山団地内の区域で、後工区完成後は人口が倍近くに増えるのに緑地面積が半分以下になる不合理についても、法令の面積の範囲内で市からも防災上含め新たな公園整備は不要とのお墨付きを得ていると答え、住民は一層不安を募らせています。

計画地に隣接する分譲マンション居住者を中心に起ち上げられた住民団体が、市に提出した要望書に基づき行われた昨年11月末と今年1月18日の2回の対市交渉には、それぞれ30人以上の近隣住民が参加し、隣接戸建てへの住環境影響から5段式立体駐車場の地下への段数増や100%台数設置の緩和、予定地内の防災公園設置を粘り強く要望しました。こうした声に一定応えたのか、昨年10月中旬に終了した大規模構想開発協議後の11月中旬からスタートした中高層協議の第2回目が今年1月末に行われた際には、当初計画の変更協議という前置きで、5段式の地上部分を3階に変更、建物周囲の道路側にプレロットのような緑地帯を設け、コンビニ向かい側の歩道から擁壁部分を若干奥にセットバックする等の変更提案をしましたが、事業主側側からすれば許容範囲内の譲歩であり、近隣住民の不安や懸念を根本的に解決するには至っていません。

昨年7月25日と今年2月20日に市長のタウンミーティングが千二・千三・千里新田の3連合自治会を対象に行われましたが、大半がこの問題での近隣住民の不安や懸念を訴える声が続々と出され、市長も「手続き上違法な点がなければ許可せざるを得ない。住民の皆さんの不安な声や心配には可能な限り対応はしていく」とのお話でしたが、2月の際には時間の関係で市長から「もう一度機会をもちたい」とのことです。4月末に再度行われる予定です。法律さえ守られていれば何をやってもいいということなの



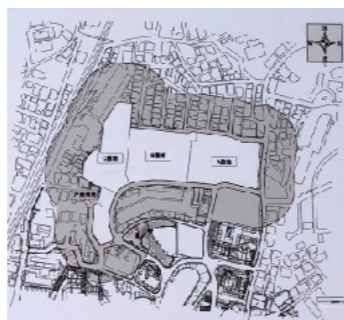
マンション建設予定地



関係住民範囲図



マンション建設予定地



関係住民範囲図



整備造成地

千里山団地連絡協議会 世話人 近藤均

かもしれませんが、住みよいまちづくりをすすめる上では、法令の範囲は当然ながら住環境の維持発展の観点から、より積極的な施策や上乘せ施策の展開があってこそ、本来の吹田ブランド、千里山ブランドの創成につながると思います。

建設計画の図面上の問題は、住民の不安や懸念が未解決のままとなり、今後は4年にも及ぶ長期の工事期間中の騒音・振動・粉塵・排気ガス等の環境問題や安全問題が大きく近隣住民に降りかかってきます。

今回の新しい約500世帯に加えて、隣の千里山月が丘に接する佐井寺4丁目の大阪学院大学グラウンドが不動産会社に売却され、何棟かの大型マンション開発が計画されており、そうしたことが契機になってこの地域一帯を佐井寺西区画整理事業として市が市街化整備を進めることになっています。そして長年眠っていた都市計画道路佐井寺片山高浜線と同豊中岸部線の未整備区間の整備もあわせて進める（平成30年度予定事業として市報すいた4月号に「高質で安全なまちづくり」として掲載）として掲載）としていますが、人口過密地帯となれば十分なキャパの防災公園が必須となり、緑あふれるゆったりとした生活環境や“吹田ブランド”“千里山ブランド”が根底から揺らぐことは間違いなさそうです。

■ 地域公共交通コミュニティバスについて

西澤甚一郎

表紙面にありますように、2018年3月31日から、都市計画道路千里山佐井寺線の開通により、千里山駅東口のロータリー広場を基点に、JR吹田へ至る路線を、阪急バスが新たに作りしました。

それにより松が丘地区や佐井寺方面は便利になると想われます。

一方、千里山・春日地域には、5万人を超える市民が住み、今なお増え続けています。この地域に公共バス路線が全くないという不便状態が永年続いてきました。

周辺地域を含め何人かの市議さんや、市民団体や市の担当部局の長い努力によって、昨29年度に調査費予算がついて秋には「地域公共交通に関するアンケート」がこの地域で行われました。

その分析結果をふまえ、30年度には864万円余りの予算が計上され、コミバスの運賃・ルート設定や車種などの詳細な検討が行われる段階に入りました。

たのしいバス《南千里ルート》の運行経過報告

「千新まちづくり協議会」の2年半に及ぶアレンジによって、2011年10月にスタートした無料巡回バス《南千里ルート》は、毎年6~7000人の地区高齢者が利用され、6年半経過した2018年3月末で累計42,000人を超える人数に達しました。

【運行】株式会社 ケア21

【メインスポンサー】イオン南千里店

■ 春の「ちさと散策会」

名残のさくらの下に、2018年4月7日（土）春の散策会が催されました。このたびのコースは、近年変貌を遂げた駅周辺の千里山東地域と関西大学キャンパスが中心でした。

まずUR千里山団地です。平成22年の解体、同26年竣工入居の立替事業に伴い



ロータリー広場



広場に時計を設置



阪急バスの時刻表

団地内のみどり修景環境もすっかり変わりました。これまで50有余年の歳月を閲し、桜名所で知られたソメイヨシノに替わり、新たに「ふるさとサクラ散策路」が設けられました。残存し移植されたソメイヨシノに加え全国から22種類ものサクラが新設のキリ棟とニジ棟を連結する回廊デザインのもとに植栽されました。その中にはご案内の通り、冬に花を付ける冬サクラ、十月サクラ、早咲きの紅色カワツサクラを始め、小説「桜守」の主人公で、樹齢450年のエドヒガン（莊川桜）をダム湖底に沈むところから高台移植に成功された笹部新太郎氏に係るササバサクラ、またヤマザクラの丘も設けられました。

団地のシンボルツリーのフェニックス・チェリーにあわせ移植楠、玉石積など記憶、千里山らしさの継承とエコ配慮の新たな創生とにより建築環境評価最高ランクS、府優良緑化賞などを受賞され、今後の成長が期待されるところで。千里尋常小分校ゆかりの大正15年銘の石門の立つちさと図書館前の楠は、昭和11年千二小卒業記念で、これは向かい側の団地内の移植楠と対になり町の景観を形造っています。

続いて関大北門からキャンパス内に入場。折りしも90周年を迎えた構内現存最古の建物で趣のあるレンガ階段も備えた簡文館を訪ねた。

年史編纂室・学芸員熊博毅氏から、同館は高台に立地し往時、遥かな眺望を楽しめたことや文化勲章受賞の村野藤吾の円形の増築設計に係る、国登録有形文化財・府指定文化財たることまた、当館はピロティ方式であることから、今は総合図書館敷地などに替わった往時の東洋一のグランドから見上げるとまるで浮き上がったような独特の景観を呈していたこと、さらには市内西区発祥132年の関大の歩みとその建学精神を承った。

村野氏の設計になる建物はこれまで40棟を数え、現在もユニークな円形の16柱のピロティ式の円神館、関大本館、吹抜トッライトを備えた社会学部1号館、誠之館和室、一高・一中校舎など約20棟が残る。214万冊の蔵書の図書館、約2万点の考古資料の国登録有形文化財収蔵の博物館などを有する知的殿堂に合わせ、関大は古木巨木の多さ、屋上緑化、多面的なエコの取り組み等において地域が学ぶべきみどりエコの殿堂でもあろう。

ちなみに、学理と実際の調和など「学の実化（がくのじつげ）」を唱えた第11代学長で関大中興の祖といわれる山岡順太郎氏をご存知の通り千里山開発の先駆者でもあります。

見学後、自由参加で学内食堂で昼食をともにしながら懇親も図りました。

施設見学でご説明や、お世話を賜った関西大学関係各位に厚くお礼を申し上げます。

（千里山まちづくり協議会 中野直衛）



ふるさとサクラ散策路



図書館・旧木造教室



キャンパス案内板



簡文館で集合写真



復元屏風絵 豊臣期の大阪



関西大学資料

■ レッスンハウスピッコロと界隈

千里オー克蘭ズ有限公司 代表取締役 奥保明

寝山という地名がどこにあったのかと、たずねる人もありませんが、私の中の幼い記憶にあります。ねむねむ太郎という、父の創作童話を聞いて育ったせいか、田畑の背景に迫る竹やぶや、池の向こうの畔りというのか、谷が始まる辺りにいつもありました。千里丘陵のことであるのですが、西国街道までのゆるやかな山体を言うようです。かつては山賊もいたと聞きます。

幼心に、畦道の行く先に幾筋も、終わりのない物語があったように思います。「ねやま」には、時代は変わり千里ニュータウンが計画され、新しい街に、時に合った名称が検討されたようです。それ以降、寝山はねむりについたというわけです。

千里ニュータウン開発から遅れること20年。周辺地区にも明るい活気が見え始めていました。いまのイオン南千里店が来たのもその頃です。

レッスンハウスピッコロですが、音楽教室を始めたのも同じ頃になります。世代は変わってしまいましたが、新しい会員の皆様も、家族ぐるみでお稽古に来ていただいているのがうれしいです。

会員とその家族みんなに明るい会話が弾むよう、今後も微力を尽くします。

陶芸教室も始めています。こちらはシニアの方が中心ですが、土と炎が、飽くことない魅力になります。

続いている敷地には、「カワッタ」とよく言われるマンションがあります。2002年頃に和テイストのマンションに挑戦したものです。名称も「むらさめ」つまりは村雨としました。

街並みの雰囲気左右するのが、空から建物を、切りとる。あるいは、つなぐ屋根となります。丸瓦とその妻面を段差によって表現しました。壁面は「やっこぐら」の石灰壁の風合いを採用しました。廊下手すりの面飾りに、「ひらかな」を嵌めています。建物全体のフォルムは、最初に触れた「ねやま」をモチーフとしています。

最近、敷地北側の里道に面した植栽を改めました。青石など、四国から取り寄せた石を楽しんでいただけます。

庭園管理・施工も請け負っておりますので、その節はご用命のほどよろしく。



音楽教室



屋上緑化

レッスンハウスピッコロ (音楽教室・陶芸・文化教室)

住所：千里山西66327103 電話：06-6385-3417

ホームページ：http://piccolofox.music.coocan.jp



村雨庭園管理

住所：千里山西66327

電話：090-2011-9234



■ 第1回千里山コミセンまつり雑観

千里山コミセンまつり 実行委員長 藤木祐輔

昨年、12月9日と10日の2日間にわたり開催された第1回千里山コミセンまつりは、ステージ・カルチャーに34団体の参加と延べ2000人が集まり大盛況となり、喜ばしい結果でスタッフ一同胸を撫でおろしました。関係者の皆様には改めて御礼と感謝を申し上げます。

此度の祭りでは特筆すべき点は、オープニングセレモニーに於いてご来賓の後藤圭二吹田市市長が千里山の文化力、人間力、地域力等を総合して質の高い「千里山ブランド」として大きく「まつり」を評価されました。「千里山ブランド」とは一体なんだろう？

今回の「まつり」ステージプログラム構成は、1組カイザーズチアードダンスから最終組の関西大学学生チーム漢舞&総踊りまで、夫々がレベルの高い内容で観客を魅了した実力、一方では書道、水彩画、俳句、アートフラワー等々のカルチャー展示は全てが高水準で賞賛されていました。この事で理解出来る様に地域の文化総合が「千里山ブランド」と称されるものでしょう。

千里山コミュニティセンターは佐井寺、千二、千三、千里新田の4連合自治会を中心に構成され、地域文化、連帯、親睦のふれ合の場として重宝されています。「千里山コミセンまつり」千里山のネーミングの中には広義で千里村佐井寺も含み全体としては千里丘陵の中心的存在としてのポジションで有ります。

新年度をむかえ「第2回千里山コミセンまつり」へ新体制でより高みの「千里山ブランド」に挑戦して行きます。今年も又12月に、皆様のご参加をいただき、千里山コミュニティセンターでお逢い出来ます事を祈念申し上げます。



コンサート



絵画展



投稿歓迎! ご意見や千里山ニュースなどへの情報をお寄せ下さい。ブログ「ちさとの風」へのコメントやトラックバックもよろしくお願いいたします。千里山まちづくり協議会では会員を常時募集しています! (年会費:1000円) 以上、当協議会また開催イベントなど、お問い合わせやご参加の際には、お気軽に下記事務局までご連絡下さい。
発行：千里山まちづくり協議会 会長：筒井一光 事務局長：松岡要三 編集：中野直衛・小島功
事務局：〒565-0851 吹田市千里山西5丁目11-19 千里山会館内 TEL：06-6384-0603
(年会費などの振込み口座番号：00990-7-278514 口座名称：千里山まちづくり協議会)
ブログ：ちさとの風 http://blog.goo.ne.jp/chisato-wind (右のQRコードでアクセス)

